

# 学校の部活動に係る活動方針

静岡県立沼津西高等学校

## 1 部活動の意義

### (1) 「静岡県部活動ガイドライン」による部活動の意義

- ①部活動が生徒の人格形成に大きく寄与しており、日本の学校文化の中できわめて重要な役割を果たしてきていること
- ②より高い水準や記録に挑戦したいという人間の本源的な欲求に応え、爽快感、達成感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすという内在的な価値を有していること
- ③生徒が異年齢集団に属し、仲間や教員等との密接な関わりを通して、社会性を育むことができる点で大切な役割を担っていること
- ④目標達成に向かって互いに励まし合い、高め合う営みは、他者の多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にし、よりよい社会づくりに参画する「有徳の人」の育成に資するものであること

上記の意義を認めることができる部活動は、「文・武・芸」三道の鼎立を目指す本県の教育の理想を追求する上で、学校教育の活動の重要な柱の一つです。

(『静岡県部活動ガイドライン』(平成 30 年 4 月・静岡県教育委員会)より)

### (2) 本校における部活動の意義(案)

本校では、「克己」という校訓の下、

- ア 知的探究心と実践力を持ち、日々の教育活動の中で成長し、力強く己の未来を切り開き、社会に貢献できる人材の育成を図る。
- イ 芸術への探究心を持ち、豊かな感性や創造力を身に付け、生涯にわたって芸術を愛する人材の育成を図る。
- ウ 文武芸の各分野において広い視野を持ち、よりよい社会づくりに参画し、行動できる人材の育成を図る。

という 3 つの教育目標を掲げている。

本校は普通科と芸術科が開設されている東部唯一の高校であり、部活動の加入率も 97.9%(平成 30 年度 5 月現在)と高く、技術・競技力向上という部活動本来の目標と並んで、生徒間に、互いに助け、助けられる良好な人間関係を築くことを目標に運動部、文化部共に多くの生徒が活動に取り組んでいる。生徒の部活動に対する意欲は「社会性を備え主体的に行動できる生徒を育成する」という取り組み目標にも重なっており、本校の教育活動の大きな項目となっている。

## 2 本校における部活動活動方針

平成 31 年度の設置部活動

運動部…剣道、卓球、テニス、フェンシング、陸上競技、女子サッカー、女子バスケットボール、男子バスケットボール、女子バドミントン、男子バレーボール、女子バレーボール、男子ハンドボール、男子サッカー	(13)
文化部…イラスト、英語、音楽、自然科学、茶道、写真、食物、書道、箏曲、パソコン、美術、吹奏楽、(文芸同好会)	(12+同好会)

### (1) 活動目標(案)

- ア 明るく充実した学校生活の展開
- イ 豊かな人間性や社会性を育成。
- ウ 地域や家庭との連携を促進。
- エ 心身共に健康な身体を育成。
- オ 生涯に亘って芸術活動やスポーツ活動等に親しむ実践力を身に付ける。
- カ 大会やコンクール、発表会、展覧会等への参加や日常的な活動を通して、目標に向かって努力する態度を養う。
- エ 生涯に亘りスポーツや芸術活動等に親しむことができるような興味や関心を高める。
- オ 生徒や教員が、家族と過ごしたり自己を研鑽したりする時間を十分確保できるように、部活動時間を効率化することで部活動への参加意欲と豊かな人間性の育成を図る。

### (2) 成果目標

- ア 「部活動に一生懸命取り組んでいる」と答える生徒の割合…80%以上
- イ 「部活動が充実している」と答える生徒の割合…80%以上
- ウ 各部活動において、年度当初に設定した目標を達成する部活動の割合…70%以上

### (3) 目標達成のための具体的な取組

- ア 部活動検討委員会の設置
  - ◇委員会の構成 教頭、生徒課長、芸術科長、生徒課部活動担当教員、運動部顧問長、文化部顧問長、その他必要な関係職員を置く
  - ◇検討内容：
    - ・学校部活動基本方針の検証と見直し
    - ・各部活動の休養日や活動時間の設定
    - ・適切な部活動の設置と顧問の配置
    - ・指導経験が少ない部活動顧問に対する活動への支援
    - ・外部指導者の効率的な活用
    - ・部員数の状況により合同部活動の検討
    - ・指導者の資質向上、体罰の根絶、事故防止に向けた研修の企画・実施

イ 平常時の部活動休養日及び活動時間の設定(原則)

休養日…週当たり2日以上の休養日を設ける(平日は少なくとも1日、週休日(学校の休業日)は少なくとも1日以上を休養日とする)。

活動時間…1日の活動時間は平日では長くとも3時間程度、週休日(学校の休業日)は4時間程度とする。

終了時刻…19時には活動を終了し、19:30には完全下校をする。

※運用上の留意点

- ・活動日数や時間は、試合期等でまとまった練習等の時間が必要な場合など、状況により柔軟な対応が可能である。ただし、活動日数や時間を変更する場合は、あらかじめ校長の了解を取り、一定期間内の他の日に振り替えるなどの調整を行う。また、その調整状況については、適切に保護者や生徒等に周知する。

ウ 定期テスト前の部活動について

学業に専念するという観点から、定期テスト1週間前から部活動自粛期間とする。

※テスト直後にコンクールや大会等を控える部については、「試験期間 部活動願」の提出により、部活動が許可される場合がある。活動時間は、試験勉強に必要な時間を確保できるように配慮する。

オ 部活動に係る活動計画の作成と公表

◇年間活動計画…年度当初に、年間の大会や遠征等の計画と年度の目標を設定する。

◇月間活動計画…前月の15日までに、各月の活動計画を設定する。

※各計画は学校ホームページに掲載するとともに、生徒や保護者に情報を提供する。